

芳名録の掲載について

※大正8年から昭和22年(芳名録第30巻)まで、本館創立以来約50年間分の記名者を記載する

※記帳事項は芳名録に記録されたもので、名刺や文章、絵、歌などの状況も記す

ただし著作権に関わるような形態の絵や歌、住所が特定できる番地などは掲載しない

※備考は本館で調査した加筆事項で、図書や新聞、インターネットの情報による

※文字が不明な場合は＝で表記する

芳名録巻	来館日			氏名	記帳事項	備考 職名など本館調査によるもの
	年	月	日			
S12	1937	7	12	横山 助成		警視総監 勅撰貴族院議員 岡山、石川、広島、神奈川県知事 京都府、東京府知事 大政翼賛会事務総長
S12	1937	7	12	川合 貞一	慶應義塾大学	哲学者 慶應義塾大学文学部長兼亜細亜研究所顧問 文部省国民精神文化研究所嘱託 7月11日「長崎三田会」夏期巡回学術講演会で来崎
S12	1937	7	12	林 譚	全	同行 医学部教授 大脳生理学 木々高太郎名で推理小説家 7月12日福沢諭吉 大井手町記念標落成式に参加
S12	1937	7	12	永田 清	全	同行 経済学部教授 財政学 東京帝国大学教授 日本ゴム、福岡製紙、日新製糖社長 日本放送協会会長
S12	1937	7	26	恩地 孝四郎		版画家 装幀家 写真家 詩人 抽象画の創始者
S12	1937	7	30	川嶋 明八		林政学 東京帝国大学農学部助手 鹿児島高等農林学校教授
S12	1937					外国人
S12	1937	8	11	小菅 芳次		広島県警察部長 京都府警察部長 警視庁警視保安課長 東京府総務部長 香川県知事 台湾総督府交通局総長
S12	1937	8	15	澤崎 定之		テノール歌手 東京音楽学校声楽部教授 東京放送合唱団創立
S12	1937	8	26	井上 孚麿		法学者 憲法学 文部省国民精神文化研究所所員 法政大学、台北帝国大学、亜細亜大学教授 平戸出身
S12	1937	9	16	田中 辰二		第五高等学校教授
S12	1937	9	22	吉屋 信子	主婦の友特派員として 上海におもむく途上 思い出なつかしき長崎図書館にて	小説家
S12	1937	9	24	渋谷 清見	海軍中佐	海軍航海学校教官兼海軍大学校教官 水路部第2部第3課長 戦艦長門艦長 第3特攻戦隊司令官 のち海軍少将
S12	1937	9	24	島野 貞三	内務技師	土木局 河川・港湾土木に尽力 運輸通信省港湾局長
S12	1937	9	24	河野 弘興	内務属	同行 土木局
S12	1937	10	4	村上 義温		外務省在ペルー日本公使館特命全権公使 日本ペルー協会初代会長
S12	1937	10	4	馬瀬 金太郎		同行 在桑港総領事館領事 在バタヴィア総領事 ベルリン総領事 終戦連絡部福岡局長 北陸銀行重役 日本海重工業取締役社長
S12	1937	10	12	Y.N.Bouma		
S12	1937	10	13	本司 貞介	宮崎県立宮崎工業学校 外六十六名	建築学 熊本工業大学教授
S12	1937	10	15	石原 治良	大日本連合青年団主事	農業生産、食糧増産に尽力
S12	1937	10	19	宇賀田 順三		九州帝国大学法学部教授 法律学 九州専門学校長兼理事 西日本短期大学初代学長
S12	1937	10	22	内野 仙治		京都帝国大学教授兼化学研究所所員兼長崎医科大学教授 東北帝国大学医学部教授 京都大学化学研究所所長 結核研究所所長 名古屋市立大学学長
S12	1937	10	22	中森 茂雄	海軍造兵中佐	佐世保工廠造兵部員 呉工廠電気部長 のち海軍技術少将
S12	1937	10	22	玉井 廉人	海軍造兵大尉	同行 佐世保工廠造兵部員 のち海軍技術中佐
S12	1937	10	22	日下部 鉞治郎	海軍大佐	同行 佐世保工廠造兵部員 潜水教官 海軍艦政本部造船造兵監督官 第2海上護衛隊 運航指揮官 のち海軍少将

S12	1937	10	25	黒屋 政彦	上海自然科学研究所	微生物学者 伝染病研究所 東北帝国大学医学部細菌学教室教授 細胞遺伝学、抗生物質研究
S12	1937	10	25	渡邊 水太郎	日本郵船会社副社長	東亜海運総裁
S12	1937	10	25	角田 作次郎	同社調度課長	同行
S12	1937	10	27	柿内 三郎		生化学者 東京帝国大学医学部教授 日本生化学会創設 生態構成物質の物理化学的研究
S12	1937	10	27	古武 弥四郎		同行 生化学者 大阪帝国大学医学部長 微生物研究所所長 和歌山県立医科大学設立初代学長 和歌山県立理科大学学長 アミノ酸代謝の研究
S12	1937	10	27	小松 茂		同行 化学者 京都帝国大学理学部教授 日本産植物の生化学研究
S12	1937	10	27	後藤 基幸		同行 生化学者 京都府立医科大学教授 岐阜県立医科大学初代学長
S12	1937	10	27	児玉 桂三		同行 生化学者 九州帝国大学医学部教授 東京帝国大学医学部長 徳島大学学長 阿南工業高等専門学校長
S12	1937	10	27	正宗 一		同行 生化学者 北海道帝国大学教授 東北帝国大学、東北薬科大学教授、東北薬科大学癌研究所第1部長
S12	1937	10	28	早船 慧雲		新潟医科大学学生課課長 宗教学者
S12	1937	10	28	千輪 清海		同行 岡山医科大学学生課課長
S12	1937	10	28	横湯 温良		同行 名古屋医科大学学生課課長
S12	1937	10	28	魚住 衛		同行 熊本医科大学学生課課長 ロシア語学
S12	1937	10	28	光島 賢正		同行 金沢医科大学学生課学生主事 尚綱学園初代理事長 熊本女子短期大学学長
S12	1937	10	29	早川 卓郎		大日本蚕糸会
S12	1937	10	29	森 敬一		同行 大日本蚕糸会
S12	1937	11	1	吉田 辰蔵		
S12	1937	11	1	程 集瀛		同行
S12	1937	11	1	龍 俊起		同行
S12	1937	11	1	董 諤		同行
S12	1937	11	2	戸上 駒之助		医学博士 日本古代史研究
S12	1937	11	9	伊藤 秀常		
S12	1937	11	19	山田 孝雄		国語学者 東北帝国大学教授 神宮皇學館大学長 神祇院参与 勅撰貴族院議員 文部省国史編修院長 国学者
S12	1937	11	11	林 正躬	東京府立第三高等女学校 高等科生徒二十七名	教授 府立第九高等女学校長
S12	1937	11	13	白井 寅男	大分商業学校文庫係	教諭
S12	1937	11	15	伊勢 憲一		
S12	1937	11	16	里森 吉寿	北松浦郡調川校 外三人	
S12	1937	11	18	荘田 泰		
S12	1937	11	20	細田 源吉		小説家 プロレタリア文学 歴史小説 府中刑務所篤志面接委員
S12	1937	11	21	桑折 英三郎	海軍少将	佐世保鎮守府参謀長 第1連合特別陸戦隊司令官 在満州国大使館付武官 のち海軍中将
S12	1937	11	21	石黒 利吉	海軍主計少将	同行 佐世保鎮守府海軍経理部長、主計長
S12	1937	11	21	鈴木 久武	海軍機関大佐	同行 のち機関中将 技術研究所理学研究部長 横須賀機関学校長 海軍工機学校長
S12	1937	11	21	小山 敏明	海軍機関少佐	同行 のち海軍大佐 呉鎮守府参謀副長
S12	1937	11	23	松波 仁一郎		法学者 海商法学 民法典起草補助員 東京帝国大学教授 パリ万国海法会議議長
S12	1937			柳 荘太郎	初冬 東京	第一火災海上保険会社社長 三井銀行重役 三井財閥の知己 慶應義塾大学塾章考案
S12	1937			村上 一郎		文芸評論家 歌人 小説家 建国義勇軍首謀者 日本レジン会長
S12	1937			村上 よし子		同行
S12	1937	11	27	影山 巍		大日本支那語同学会 中国語研究
S12	1937	11	30	Jan Fabius		オランダ陸軍将校 ジャーナリスト 作家 政治家 インドネシアで日本の捕虜
S12	1937	11	30	柴田 善一郎		勅撰貴族院議員 元官僚 朝鮮総督府学務局長 三重県、福岡県、愛知県知事 大阪府知

S12	1937	12	8	柴田 晋二郎		事
S12	1937	12	24	大谷 光照		浄土真宗本願寺派第23世宗主 昭和天皇の従兄弟 国家神道と結ぶ 伯爵
S13	1938	1	9	田中 無事生		元高知県、茨城県知事
S13	1938	1	10	志木 正雄		
S13	1938	1	23	吉川 重蔵		在英国大使館外務書記生 大東亜省支那事務局事務官 東南アジア貿易投資観光促進センター事務局長 第46回文官高等試験外交科合格者同期
S13	1938	1	23	保科 光正		同行 在英国大使館外務書記生 大東亜省秘書官 阿波丸事件で死亡 上総飯野藩保科家当主 第46回文官高等試験外交科合格者同期
S13	1938	1	23	杉田 恒吉		同行 在独国外務書記生 公使館3等書記官 第46回文官高等試験外交科合格者同期
S13	1938	1	23	大森 喜八郎		同行 在米国外務書記生 情報局総裁秘書官 外務審議官 外国為替管理委員会総務課長 第46回文官高等試験外交科合格者同期
S13	1938	1	23	渡邊 耕一		同行 在英国大使館外務書記生 軍務につき戦死 第46回文官高等試験外交科合格者同期
S13	1938	1	23	吉岡 俊夫		同行 在英国大使館外務書記生 ジュネーブ領事 国会外務委員会調査室長 第46回文官高等試験外交科合格者同期
S13	1938	1	23	藤崎 万里		同行 在米国外務書記生 政務局事務官 亜細亜局賠償部調整課長 オランダ、タイ大使 最高裁判所判事 第46回文官高等試験外交科合格者同期
S13	1938	1	23	服部 五郎		同行 在仏国外務書記生 スウェーデン3等書記官 外務省国際連合局長 第46回文官高等試験外交科合格者同期
S13	1938	1	24	水谷 良一		内閣統計局労働課長 商工省特許局意匠商標部事務官 東京鉱山監督局長 日本時計協会理事長 棟方志功の後援者 民芸運動家 号:此木喬
S13	1938	1	24	井上 一		同行
S13	1938	2	9	宮脇 梅吉		元和歌山、埼玉、千葉、岐阜、新潟県知事 日本人絹織物工業組合理事長
S13	1938	2	11	宇野 圓空		東京帝国大学文学部助教授 宗教民族学 東京帝国大学東洋文化研究所所長
S13	1938	2	15	May = = ine		
S13	1938	2	18	武田 清海		
S13	1938	2	18	宮島 秀雄		同行
S13	1938	2	21	古谷 清		
S13	1938	2	23	山口 盛市		
S13	1938	3	3			外国人
S13	1938	3	10	大木 俊九郎	佐賀図書館長	教育者 台湾新竹中学校初代校長
S13	1938	3	12	近藤 藤次郎	海軍機関大佐 外十名	佐世保鎮守府警備戦隊機関長 舞鶴、佐世保海軍軍需部長 のち海軍少将
S13	1938	3	15	田島 太郎	内務理事官	警保局工業係長 映画検閲
S13	1938	3	16	奥屋 熊郎	大阪中央放送局	文芸課長 放送部長 国民歌謡の普及と放送
S13	1938	3	19	吉岡 正彦	= = 漢口江漢高級中学	
S13	1938	3	21	河合 茂	広島高等師範学校教授 外文科第二部第二学年生一同	英語教育 広島文理科大学教授
S13	1938	3	28	酒井 忠道		
S13	1938	4	3	杉山 栄一郎		群馬県学務部社会教育課長 群馬県女子師範学校教諭
S13	1938	4	10	斎藤 克巳	九大工学部	
S13	1938	4	11	真下 繁次	文部省図書局	図書監修官補 鹿児島大学理学部教授
S13	1938	4	16	松本 彦次郎	東京文理科大学国史科 外七名	教授 歴史学者 日本文化史 鎌倉仏教史 俳人 号:金鶏城
S13	1938	4	21	安藤 堯雄	東京文理科大学教育学科 外十一名	助手 東京教育大学教授 付属中、高校校長 教育制度研究
S13	1938	4	21	安藤 = =		同行
S13	1938	4	21	依田 又四郎		同行